

29th Joint Concert

参加各校吹奏楽部顧問

本日はお忙しいなかご来場いただき、誠に有難うございます。前回は諸事情により船橋市で開催した「ジョイント」ですが、今回は市川市に戻り、お馴染みの「今年の聴き納め」の演奏会となります。今回は参加校6校で、前々回10校、前回7校と比較すると、コンパクトな印象を持たれるかも知れません。しかし、前回に引き続きOBバンドも出演しますので、出演者だけで150名近い音楽仲間が集まり、賑やかな雰囲気なかで、充実した演奏会になることでしょう。

この「ジョイント」は平成2年に始まりました。参加各校から同じ学年の部員が集まるという、学年合同バンドによる演奏スタイルが長年受け継がれ、前回の平成30年(第28回)まで「平成」を駆け抜けました。今年5月には新元号「令和」となり、勢いそのままに新時代に駆け込みたいところでしたが、今回の会場である「市川市文化会館」が、改修工事のためしばらく休館となるため、次回以降の代替会場を検討中です。また今回は「第30回」の節目の年ですが、これを機に、新時代「令和」に合った演奏会のスタイルについて、模索を始めました。色々と複雑な世の中となり、高校の部活動の在り方さえ問われる時代となりましたが、参加各校の顧問同士で知恵を出し合い、各校の活動や、この「ジョイント」の活動が、充実したものになるように頑張ります。

今回も研究熱心な各校顧問による選曲で、大変素晴らしいプログラムが実現しました。最後までお楽しみ頂ければ幸いです。また、今後の参考とするため、アンケートの回収率アップを目指しています。ぜひともご協力下さい。最後になりましたが、本日の演奏会にご協力頂きました参加各校の関係者の皆様方、市川市文化会館の職員の皆様方に厚く御礼申し上げます。

ジョイントスタッフの顔ぶれ

吉田 直 先生 (松戸六実 / 社会)

現役バリバリのクラ吹き。しかし前途多難の暗示か、今年はや々とインフルに感染。第1回より(29回目)

山崎里花 先生 (国分 / 音楽)

ピオトープ作りが趣味。メダカと水草に癒やされています。来年は楽器を吹きたい。第26回より(4回目)

石井秀明 先生 (白井 / 理科)

作曲家デメイが来日した際、日帰りで大阪に演奏会を聴きに行き、サインを貰った。第6回より(23回目)

柴山歩美 先生 (松戸向陽 / 英語)

カメラにはまりました。色々なところに撮りに行きたいなあ。現役フルート吹き。第27回より(3回目)

豊田英文 先生 (市川昂 / 音楽)

だじゃれマスター。9月に正道会館全国大会重量級(55歳~62歳)で優勝しました。第7回より(23回目)

外川健大 先生 (薬園台 / 国語)

先日、部内でインフルが大流行。うがいを手洗いを心がけて感染阻止しています。第28回より(2回目)

平川忠一郎先生 (名誉顧問 / 国語)

管球式アンプで昔のLPレコードを聴き直しています。3年ぶりに教壇に立ちました。第9回より(21回目)

他にも多くのスタッフに支えられています